

MD100 完全版 DB 照合モードマニュアル

このマニュアルでは「MD100」の DB 照合モードに関し詳細に記載
します。

Ver2.10

内容

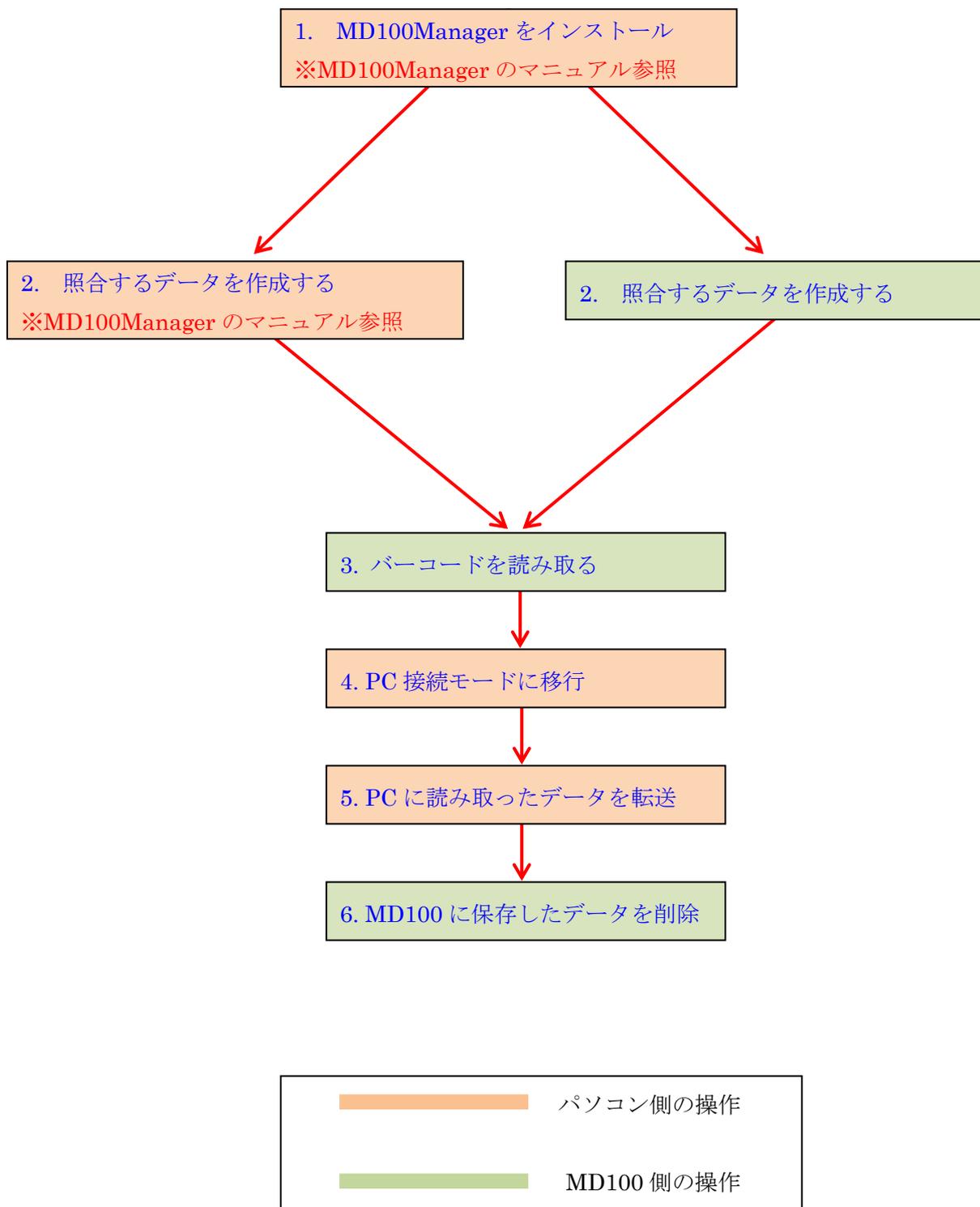
| | |
|------------------------|----|
| ◆モードの違い | 3 |
| ◆DB 照合モード操作手順概略..... | 4 |
| ◆DB 照合モードに切り替える | 5 |
| ◆DB 照合モードの操作説明..... | 7 |
| ◆照合データを作成する（本体側） | 8 |
| ◆照合を行う | 11 |
| ◆PC ヘデータの取り込み..... | 12 |
| ◆本体設定（スキャン設定） | 15 |
| ・ 確認送信 | 15 |
| ・ 日付付加 | 15 |
| ・ 時間付加 | 16 |
| ・ 時間の設定 | 16 |
| ・ スキャン方法..... | 16 |
| ・ 画面設定 | 16 |
| ・ ビープ音設定..... | 17 |
| ・ バイブの設定..... | 17 |
| ・ 設定の初期化..... | 17 |
| ・ ” でデータを囲む..... | 17 |
| ◆本体設定（その他） | 18 |
| ・ 端末番号付加..... | 18 |
| ・ ファイル操作..... | 19 |
| メモリの初期化..... | 19 |
| 履歴確認 | 20 |
| 1. ファイル操作から確認する..... | 20 |
| 2. 読み取りモードから確認する | 21 |
| 3. 履歴確認モード操作説明 | 22 |

◆モードの違い

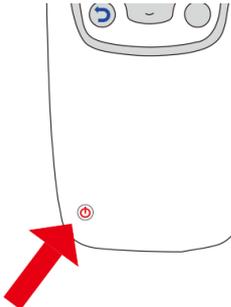
MD100には「1対1モード」と「1対Nモード」と「DB照合モード」の三パターンの照合方法があります。それぞれのモードについて簡単に説明します。

| モード名 | 説明 | イメージ |
|---------|--|------|
| 1対1モード | 1つの照合元から1つの照合先を照合するモードです。 2つの商品が同じ商品かを確認したりする際等に使います。 | |
| 1対Nモード | 1つの照合元から複数の照合先を照合するモードです。 1つの同商品のBOXに間違っった製品が混入していないかを調べる際等に使います。 | |
| DB照合モード | 予め登録しておいたデータを使い、照合を行います。 読み取ったバーコードに対応する商品名を表示されることができるようになります。 | |

◆DB 照合モード操作手順概略



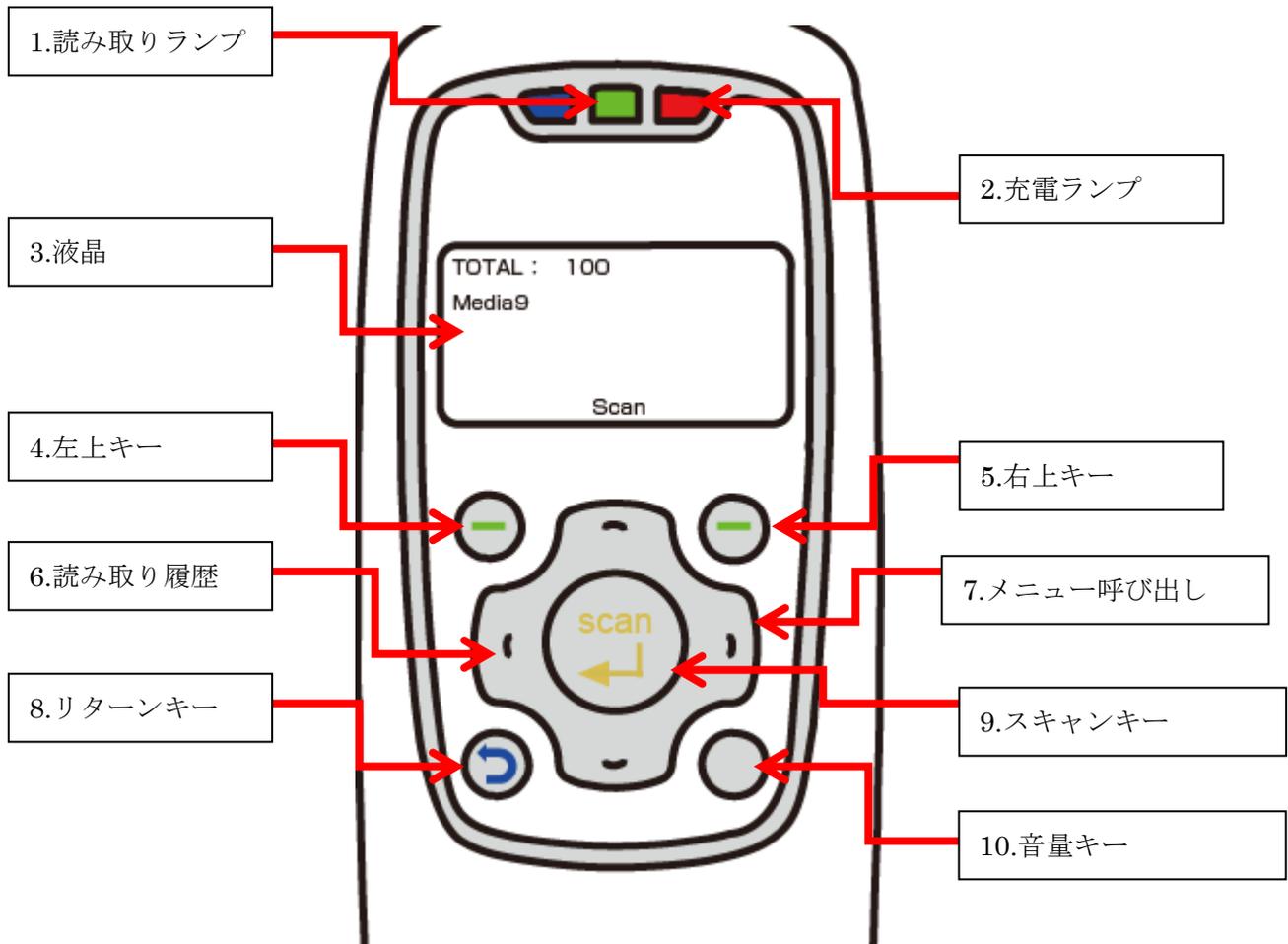
◆DB 照合モードに切り替える

| | |
|---|---|
| <p>MD100 の電源を入れます。</p> |  |
| <p>「照合モード」を選択します。</p> <p>※この画面ではない画面などの場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p> |  |
| <p>①もしくは②の画面に切り替わります。</p> <p>ここで十字キーの右を押してください。</p> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>照合元：</p> <p>照合先：</p> <p style="text-align: right;">Scan 照合元</p> </div> </div> <div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>TOTAL： 1</p> <p>12345678</p> <p style="text-align: right;">Scan</p> </div> </div> </div> |
| <p>照合メニューから「照合方法」を選択します。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 150px;"> <p>照合メニュー</p> <p>1. 照合方法</p> <p>2. 照合カラム設定</p> <p style="text-align: right;">決定 戻る</p> </div> |
| <p>「DB 照合」を選びます。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 150px;"> <p>照合モード選択</p> <p>1 1対1照合</p> <p>2 1対N照合</p> <p>3 DB照合</p> <p>3 /4 決定 戻る</p> </div> |

右の図のような画面が表示されたら切り替え完了です。

TOTAL : 1
12345678
Scan

◆DB 照合モードの操作説明



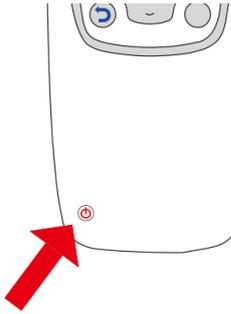
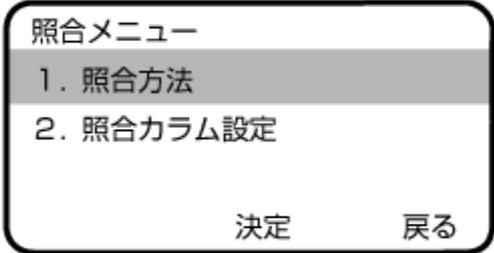
| 項目 | 説明 |
|------------|--|
| 1.読み取りランプ | バーコードを読み取ると緑色のランプが点灯します。 |
| 2.充電ランプ | MD100 を充電すると点灯します。 |
| 3.液晶 | 読み取ったバーコードや照合結果を表示します。 |
| 4.左上キー | モードによって使用します。 常時照射モード時、電源以外は操作を受け付けませんがこのキーを押しながら他のキーを組み合わせることで操作を受け付けることが可能です。 |
| 5.右上キー | モードによって使用します。 |
| 6.読み取り履歴 | バーコードを読み取りした後、その読み取った履歴を表示します。 |
| 7.メニュー呼び出し | 照合モードの設定が可能です。 |
| 8.リターンキー | メニューに戻ります。 |
| 9.スキャンキー | バーコードを読み取ります。 常時照射時は必要ありません。 |
| 10.音量キー | ボタンを押す毎にミュート→小→中→大の順で音量を切り替えます。 |

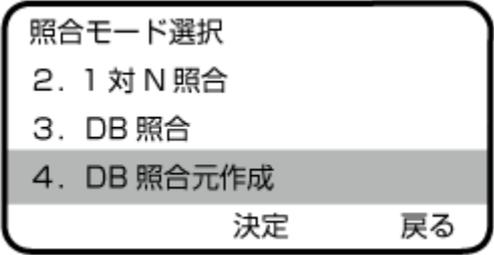
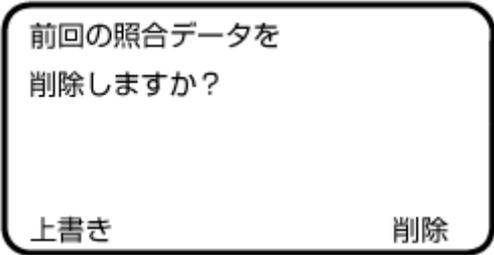
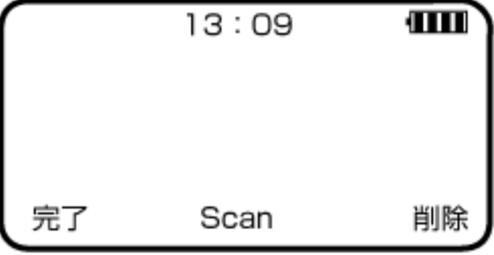
◆照合データを作成する（本体側）

照合データの作成は MD100 本体で行なう方法と、MD100Manager を使用し作成する方法があります。照合一致時に詳細データ（商品名等）を表示させたいときや、作成する照合データの数が多いときは MD100Manager を使い作成する方法を推奨します。

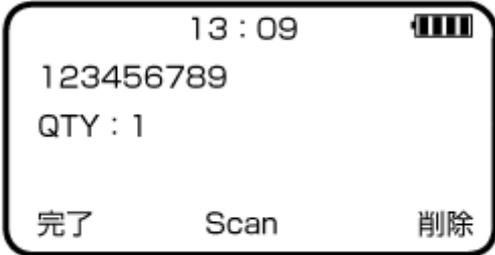
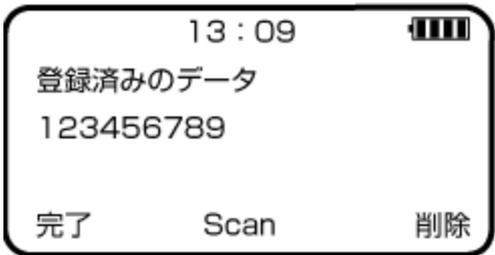
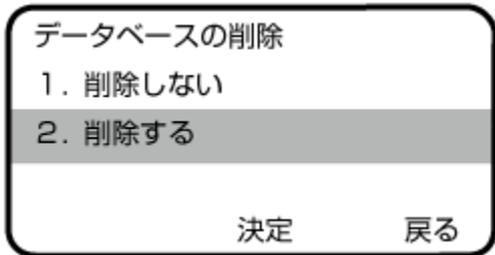
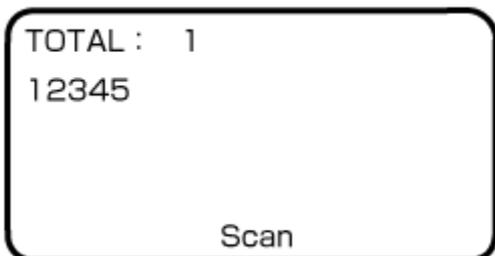
ここでは MD100 本体で照合データを作成する方法を記載します。MD100Manager を使用し作成する方法については MD100Manager のマニュアルを参照してください。

1.照合データ作成モードに切り替える

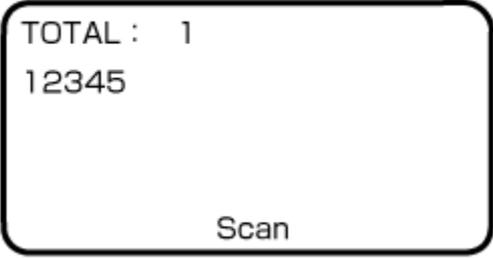
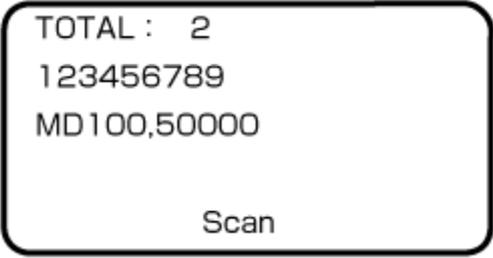
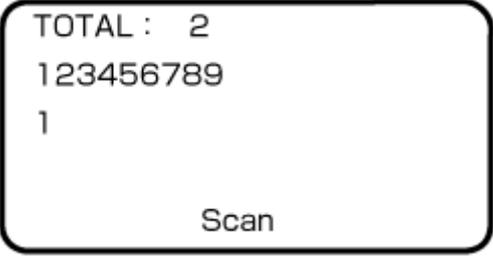
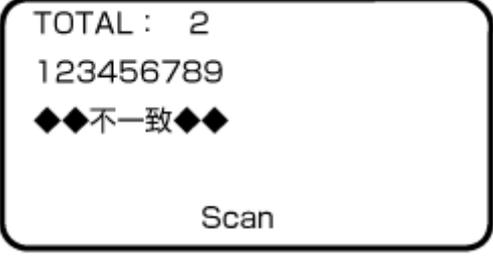
| No | 説明 | イメージ |
|----|---|--|
| 1. | MD100 の電源を入れます。 |  |
| 2. | 「照合モード」を選択します。 ※この画面ではない場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。 |  |
| 3. | ①もしくは②にモードが切り替わります。 ここで右矢印キーを押してください。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> 照合元： 照合先： Scan 照合元 </div> </div> <div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> TOTAL : 1 12345678 Scan </div> </div> </div> |
| 4. | 右のメニューに切り替わったら「照合方法」を選択します。 |  |

| No | 説明 | イメージ |
|----|---|--|
| 5. | 上下キーを押してカーソルを移動し「DB照合元作成」を選択します。 |  |
| 6. | <p>前回の照合データを削除するか確認が出きます。</p> <p>新規→「削除」</p> <p>続き→「上書き」</p> <p>を選んで登録してください。</p> |  |
| 7. | これで照合データ作成モードに切り替わりました。 |  |

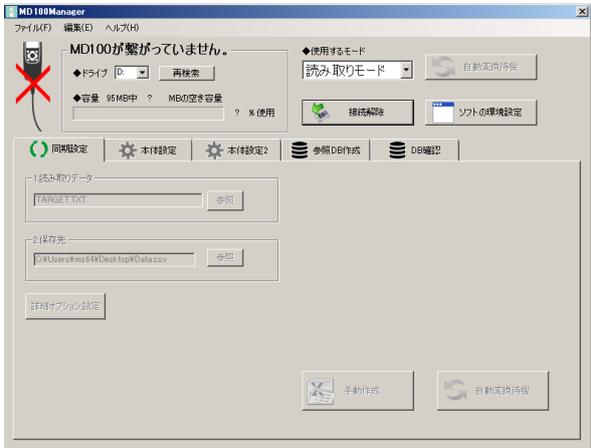
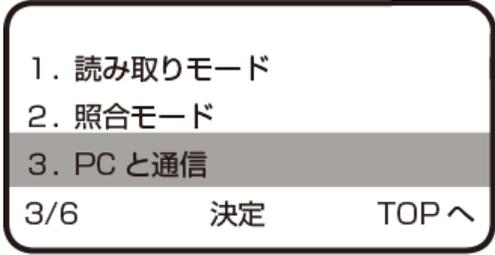
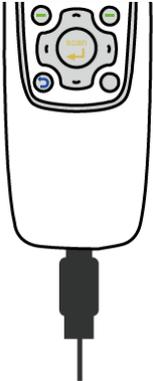
2.照合データを作成する(本体側)

| No | 説明 | イメージ |
|----|---|--|
| 1. | 「照合データ作成モードに切り替える」を行った後、照合元として登録したいバーコードを読み取ります。 |  |
| 2. | 右のような表示になると登録されています。 |  |
| 3. | 登録済みのコードを読み取ると右のような表示になります。 登録したデータをすべて削除する場合は「右上キー」を押します。 |  |
| 4. | メニューが出てくるので「削除する」を選択してください。 |  |
| 5. | 削除が完了したら「左上キー」を押すことで「照合データ作成モード」が終了します。右のような表示に切り替わり照合を開始します。 |  |

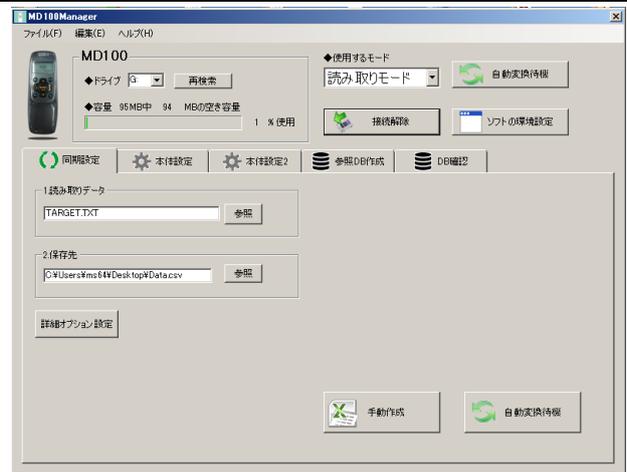
◆照合を行う

| No | 説明 | イメージ |
|----|---|--|
| 1. | 「DB 照合モード」への切り替えが完了していることを確認して下さい。 |  |
| 2. | バーコードを読み取ります。 |  |
| 3. | 照合結果一致 1 照合データと一致すると右画面のように詳細データも表示されます。 |  |
| 4. | 照合結果一致 2 詳細データ未登録あるいは本体で照合データを登録した環境で照合データと一致したときは「1」だけの表示になります。 |  |
| 5. | 照合結果不一致 一致する照合データが存在しないと右の表示になります。 |  |

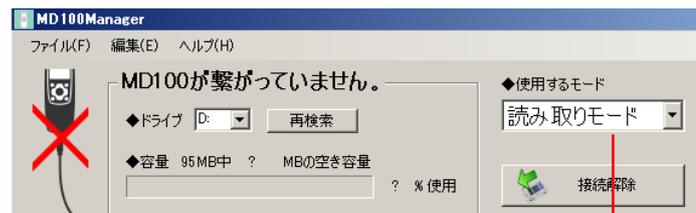
◆PC ヘータの取り込み

| | |
|--|---|
| <p>デスクトップ、もしくはスタートメニュー等より「MD100Manager」を起動します。</p> |  |
| <p>右のようなソフトが立ち上がれば起動完了です。</p> |  |
| <p>MD100 の設定に入ります。 電源を入れて「PC と通信」を選択します。</p> |  |
| <p>この状態で付属のケーブルと PC を接続します。</p> |  |
| <p>パソコン側に右のような画面が出てきたら「閉じる」を押してください。</p> |  |

右図のように MD100 が認識されたら接続が完了しています。

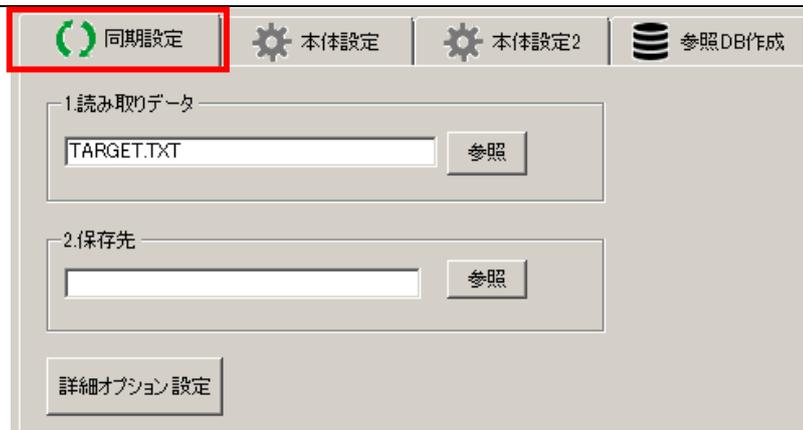


使用するモードが「読み取りモード」のときは「照合モード」に切り替えます。

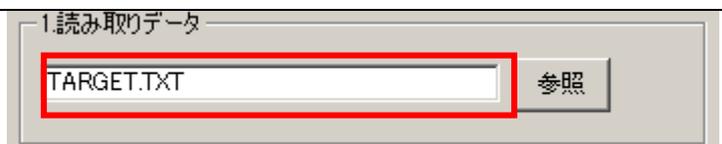


ソフトを起動した状態で「同期設定」をクリックします。

※右の画像の赤の四角



読み取りデータが「TARGET.TXT」になっていることを確認して下さい。



「保存先」の「参照」をクリックします。保存先の指定画面が出るので保存したい場所とファイル名を指定します。

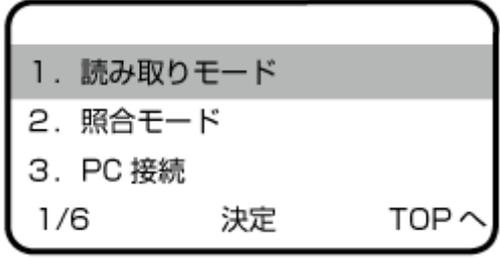
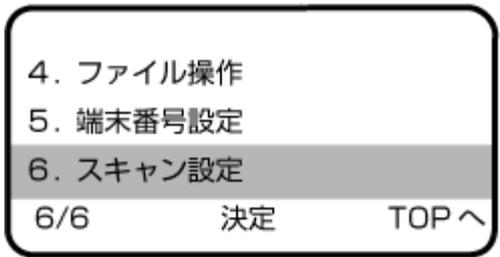
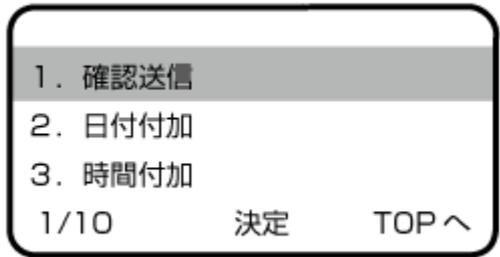
※ファイル名は「ファイル名」+「日付」+「ナンバー」になります。



| | |
|---|---|
| <p>手動作成ボタンを押すと保存されます。</p> |  |
| <p>※ファイル名は 「ファイル名」 + 「日付」 + 「ナンバー」 になります（右図参照）。</p> |  |
| <p>「接続解除」を押して安全な取り外しを行います。</p> |  |
| <p>PC への取り込み完了後は「メモリの初期化」を行って下さい。</p> | |

◆本体設定（スキャン設定）

確認送信、日付転送、時間付加、スキャン方法、ビープ音、バイブ、「」囲み、時間設定、バックライト OFF、設定の初期化をする際に使います。

| | |
|--|---|
| 読み取りモードから戻るもしくは MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。 |  |
| 上キー、もしくは下キーでカーソルを移動して「スキャン設定」を選択してください。 |  |
| スキャン設定のモードに切り替わりました。 |  |

・確認送信

| 項目 | 説明 |
|--------|---|
| 無効 (※) | 何もしません。 |
| 有効 | バーコードの読み取り時に確認画面を表示します。 確認画面で「取消」を選ぶと読み取ったデータを破棄し、「承認」を選ぶとデータを保存します。 |

(※) はデフォルト設定

・日付付加

| 項目 | 説明 |
|--------|---|
| 無効 (※) | 何もしません。 |
| 有効 | 年/月/日をバーコードの後に付加します。 例： 12345,2014/06/08 |

(※) はデフォルト設定

・時間付加

| 項目 | 説明 |
|--------|--|
| 無効 (※) | 何もしません。 |
| 有効 | 時/分/秒をバーコードの後に付加します。 例： 12345, 22:43:23 |

(※) はデフォルト設定

・時間の設定

| 項目 | 説明 |
|----|--------------|
| 時間 | 時/分/秒を設定します。 |
| 日付 | 年/月/日を設定します。 |

・スキャン方法

| 項目 | 説明 |
|------------|--|
| トリガーモード(※) | 押している間、レーザーを照射します。 |
| グッドリード | スキャンボタンを押すとレーザーを一定時間照射します。 ※照射中はボタン操作を受け付けられないので注意してください。 |
| オートスキャン | 読み取りモードに切り替わるとレーザーを常時照射します。 ※オートスキャンにして読み取りモードに入ると誤操作防止のためにボタン操作を受け付けません。 左上キーを押しながら他のキーを操作してください。 |

(※) はデフォルト設定

・画面設定

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| スリープモード | スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 スリープモードに移行すると電源ボタンの長押しを行いスリープを解除するまで操作を受け付けません。 |
| バックライト時間 | バックライトを点灯する時間を指定します。 バックライトが消灯した状態で、いずれかのキーを押すとバックライトは点灯します。 |
| 履歴閲覧設定 | 履歴表示画面で左右矢印キーを押したときの動作方法を設定します。 「スピード優先」を選択すると、右矢印キーで次ページ表示し、左矢印キーで前ページを表示します。 「右矢印で全体」を選択すると、右矢印キーで選択されているデータの全体を表示し、左矢印キーで前ページを表示します。 |

・ビープ音設定

| 説明 |
|--|
| 4段階で音量を指定できます。 「ボリューム OFF」にすると音を出しません。 「ボリューム中」がデフォルト設定です。 |

・パイプの設定

| 説明 |
|---|
| 読み取り時にパイプを使用するかどうかを指定できます。 「有効」がデフォルト設定です。 |

・設定の初期化

| 説明 |
|---------------------------------------|
| 購入時の設定に戻すことができます。 読み取ったデータは削除しません。 |

・” でデータを囲む

| 項目 | 説明 |
|--------|---|
| 無効 (※) | 何もしません。 |
| 有効 | バーコードデータを「”」で囲みます。 「12345」というコードを読み取ると「”12345”」になります。 「カンマ」入りバーコードを読み取った際の表示に関係します。 |

(※) はデフォルト設定

例：バーコード「12345,20140508」を読み取った時

1. 「”」付加を有効

| A4 | | | |
|----|------------------|---|---|
| | A | B | C |
| 1 | ”12345,20140508” | | |
| 2 | | | |

2. 「”」付加を無効

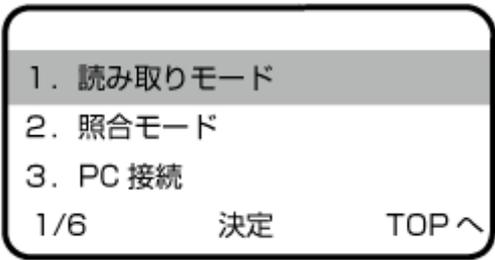
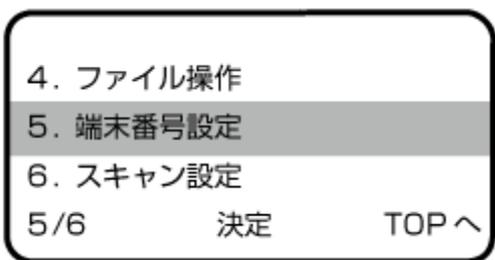
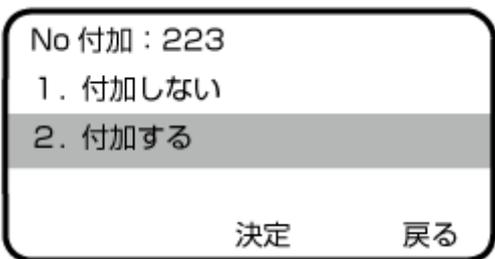
| | A | B | C |
|---|----------------|---|---|
| 1 | 12345,20140508 | | |
| 2 | | | |

◆本体設定（その他）

・ 端末番号付加

バーコードのデータの後ろに端末番号を付加します。

複数台の MD100 で読み取りを行った際に、どの MD100 で読み取ったかを確認する際に使用することが出来ます。

| | |
|---|--|
| <p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p> |  |
| <p>上か下にカーソルを移動して「端末番号設定」を選択してください。</p> |  |
| <p>付加しない場合は「付加しない」、付加する場合は「付加する」を選択します。</p> |  |
| <p>「付加する」を選択すると右の画面になり、番号入力ができるようになります。</p> |  |

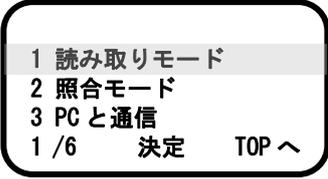
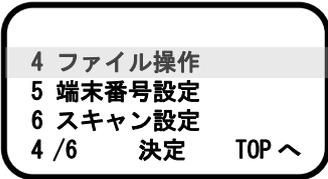
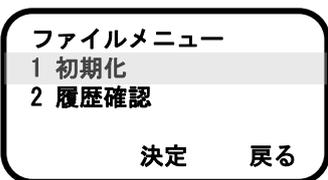
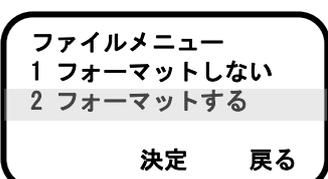
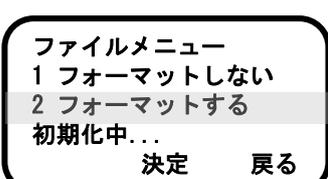
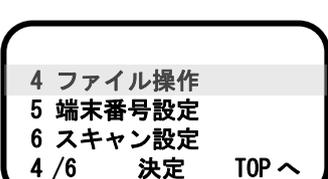
○番号入力操作方法

| 項目 | 説明 |
|--------|--|
| 十字キー | カーソルを移動します。 |
| スキャンキー | カーソル上の数字を入力します。 |
| 左上キー | 入力した番号を確定します。 |
| 右上キー | 最後に入力した数字を一つ消します。パソコンなどのバックスペースキーと同じような動きをします。 |

・ファイル操作

メモリの初期化

メモリの初期化は次の手順で行なってください。

| No. | 説明 | 画面 |
|-----|--|--|
| 1. | MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。 |  <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PC と通信 1 /6 決定 TOP へ</p> |
| 2. | 「ファイル操作」を選択します。 |  <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOP へ</p> |
| 3. | 「初期化」を選択します。 |  <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p> |
| 4. | 「フォーマットする」を選択します。 |  <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 決定 戻る</p> |
| 5. | 初期化が開始されます。 |  <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 初期化中... 決定 戻る</p> |
| 6. | 右のような画面に戻ったら初期化完了です。 |  <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOP へ</p> |

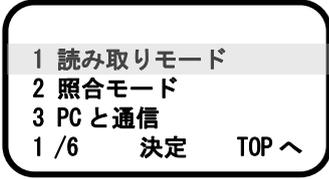
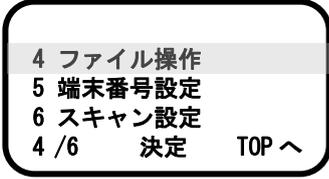
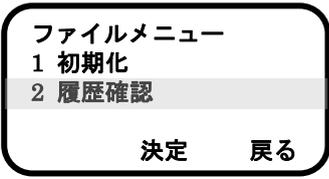
履歴確認

読み取ったバーコードの履歴を確認できます。

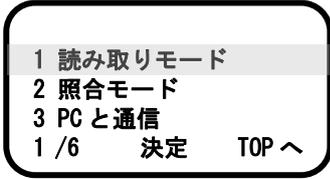
また、誤って読み取ったバーコードの削除予約も可能です。

履歴を確認するには下記の二通りのモードから確認ができます。

1. ファイル操作から確認する

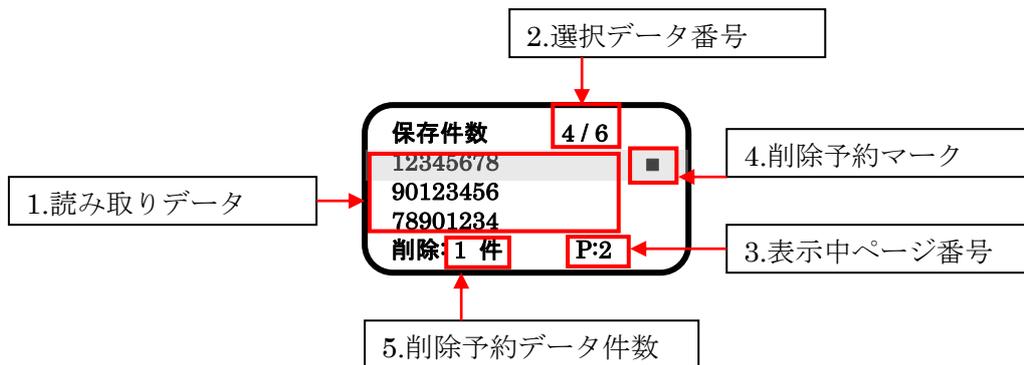
| | |
|--|---|
| <p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p> |  <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PC と通信 1 / 6 決定 TOP へ</p> |
| <p>上か下にカーソルを移動して「ファイル操作」を選択してください。</p> |  <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 / 6 決定 TOP へ</p> |
| <p>「履歴確認」を選択します。</p> |  <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p> |
| <p>履歴確認画面を表示します。</p> |  <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p> |

2. 読み取りモードから確認する

| | |
|--|---|
| <p>「読み取りモード」にカーソルがある状態で決定ボタンを押します</p> <p>※この画面ではない場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p> |  <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PCと通信 1 / 6 決定 TOPへ</p> |
| <p>左の画面に切り替わったら左キーを押します。</p> <p>※常時照射モードを選択の際は「左上キー」を押しながら「左キー」を押してください！</p> |  <p>Total: 1 12345678 scan 手入力</p> |
| <p>履歴確認画面を表示します。</p> |  <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p> |

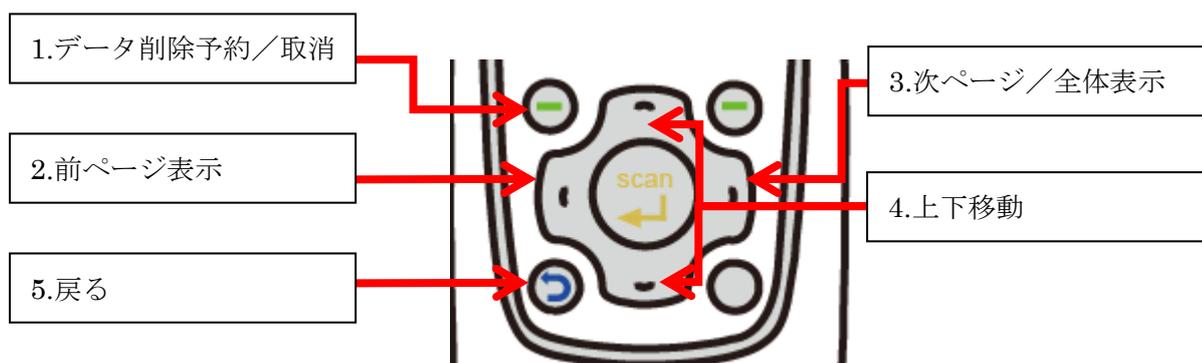
3. 履歴確認モード操作説明

読み取り履歴の確認や読み取ったデータの削除予約をすることが出来ます。



| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| 1.読み取りデータ | 読み取ったバーコードを読み取った順に表示します。 |
| 2.選択データ番号 | 選択した番号が何番目のデータかを「選択データ番号 / 全データ件数」の形式で表示します。 |
| 3.表示中ページ番号 | 現在表示しているページ番号を表示します。 |
| 4.削除予約マーク | 削除予約指定されたデータであることを示します。 |
| 5.削除予約データ件数 | 削除予約されたデータの件数を表示します。 |

・操作方法



| 項目 | 説明 |
|--------------|---|
| 1.データ削除予約／取消 | データ削除の予約あるいは取り消しを行います。 削除予約をしたデータの右端には「■」マークを表示します。 削除予約したデータはPCに取り込むCSVデータ変換の対象から除外します。 |
| 2.前ページ表示 | 前ページを表示します。 |
| 3.次ページ／全体表示 | 次ページのその他設定の「履歴閲覧設定」で「スピード優先」を選択していると次ページを表示し、「右矢印で全体」を選択していると、右矢印を押している間は画面内に収まりきれていなかった部分も含めたデータの全体を表示します。 |
| 4.上下移動 | カーソルを上下に移動します。 |
| 5.戻る | 前の画面に戻ります。 |